

新年のごあいさつ

担当常任理事 谷本 雅伯



新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

現在、当検査センターで取り組んでいる疾患別検査ガイドの作成・発刊は、平成26年9月、松村会長による運営委員会への諮問からスタートしました。諮問を受けた運営委員会は、会員へのアンケートを経て、会長へ答申を行い、「会員支援、特に診療支援に関する高付加価値サービスの創出」に向け具体的な取り組みを開始しました。

疾患別検査ガイドにはそれぞれの専門医にもご尽力いただいております。昨年4月に『肝疾患2017』、9月には『膠原病2017』を発刊することができました。ガイド発刊後には学術講演会を開催し、執筆していただいた専門医から直接、概要説明をする機会を設けております。この1月には、次の疾患として『肥満症2018』を発刊しましたので、ぜひ学術講演会にもお越しください。

また、医療安全・5S活動の院内導入支援も継続して実施します。昨年は、3つの医療機関から検査センターで開催した5S活動見学会に来ていただきました。参加者の方々からは、「参考になった」「できるところからやってみようと思う」などの前向きなご意見をいただきました。医療安全に関しましては、現在取得している医療関連サービスマークの更新を目指したいと考えております。

上記のほか、感染症情報等のインフォメーションの発行をはじめ、医療安全・院内感染対策研修会や検査情報の学術講演会もさらに内容を充実させ、積極的に取り組んでまいります。

本年は、診療報酬と介護報酬の同時改定の年です。我々を取り巻く医療界にとっては依然として厳しい状況が予想されますが、当検査センターは本年も、会員の先生方のご要望、ご意見に対し真摯に向き合いながら、精度管理の向上と高付加価値サービスの充実を図ります。

今後も信頼いただける臨床検査センターを目指して、「診療支援・経営支援・職場支援」の三つの柱をもとに、常に会員の先生方とともに歩んでまいります。

役職員一同、誠心誠意努めますので、何卒、お引き立ていただきますよう、よろしく願い申し上げます。